

一勝地小だより

第11号

R4.2.7発行
文責：梅本 和高

<https://es.higo.ed.jp/ishouchi/>

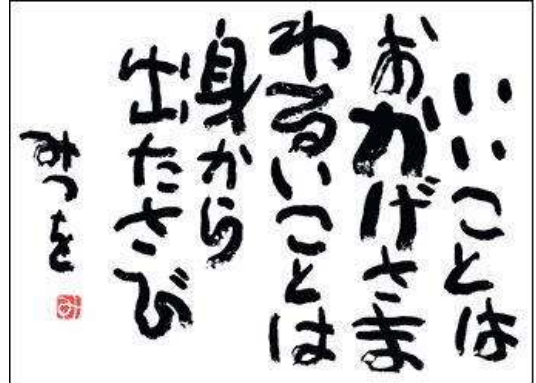


おかげさま・ありがとう

「いいことはおかげさま、悪いことは身から出たさび」は、相田みつを氏の言葉です。ここまで謙虚になるのは大変ですが、一歩でも近づきたいものです。

江戸時代に日本を訪れた外国人の多くが、日本人の礼儀の正しさ、誠実で親切であること、誰もが学ぶ意欲をもっていることに驚き、敬意を表したそうです。もちろん多くの日本人が、今もそうであると思います。

今年度も、残り2ヶ月となりました。毎日せわしい生活の中で、疲れ、悩みや苦しみなどが積み重なって、時には怠け心が頭をもたげたり、卑怯な気持ちがよぎったりします。しかし、心のチリやホコリを取り払って、いいことがあったら、それは周りの人のおかげ、悪いことがあったらそれは自分自身に大部分の原因があったからというくらいに、相田みつを氏のように、気持ちを切り替えて新年度を迎えたいと思います。



鬼は外、福は内

2月3日は節分の日です。「節分」は本来、季節の移り変わる時の意味で、立春・立夏・立秋・立冬の前日を指しています。その中で立春が1年の初めと考えられることから、「節分」といえば春の節分を示すものとなってきたそうです。

3学期からアフタースクールの会場になっているランチルームには、写真のようなかわいい鬼が飾られています。1・2年生は、生活科の学習で「豆まき」をしていました。みんなどんな鬼を追い払ったのでしょうか？

ところで、3学期になって気になっていることがあります。朝の登校指導で、こちらから言われるまで安全タスキを掛けない人、みんなが並んでいるところに遅れてきても何も言わない人などがいることです。水曜日の一斉下校では、「当たり前のことをしている人が損をしない一勝地小学校にしていきましょう。」という話をしました。

ちょっとしたところに、「自分だけ良ければ」「めんどくさいなあ」という鬼が現れてきます。子供たちには、節分の豆まきを機に「怠け鬼」を追い払って、当たり前のことを当たり前にする気持ちを更に育んでいきます。



新しい学習環境で頑張っています。

渡小学校が、球磨中学校敷地内の新しい仮設校舎に引っ越したことに伴い、一勝地小学校校舎にあった渡小学校の校長室→会議室、職員室→イングリッシュルーム、3・4教室→ランチルームに模様替えしました。



イングリッシュルームでは、ALTのナリド先生と一緒に、外国語の学習をしています。



ランチルームでは、主に放課後のアフタースクールに使っています。それ以外の学習でも活用しています。



会議室は、先生たちやPTA役員の方々の会議や研修会に活用します。



放送室奥のスタジオは、リモートでの集会やリモート会議の機器を準備しました。



運動場は、プレハブ校舎の撤去作業が完了しました。広くなったスペースで思いっきりサッカーや鬼ごっこをしています。

児童の携行品への配慮について

本校では、児童の身体への負担を考慮し、家庭ではあまり使用しない学習用具については、学校で保管することとしました。そこで、学校に置いておく物の一覧「おきべんリスト」を作成しました。リストについては、先日配付をしています。一勝地小学校のホームページにも掲載していますので確認をお願いします。